

2023年2月吉日

御取引先関係会社各位

株式会社消防試験協会



## 【連結送水管乾式配管における排水対応について】

2023年1月24日（火）に発生した大寒波の影響により連結送水管配管内の水が凍結して、一部構成部品の損傷や不具合（送水口のホースを接続する口金が外れる・放水口の内部弁体部分から漏水する等）又、スプリンクラー設備・泡消火設備等常時充水されている設備においても配管等の破損や設備の誤作動をおこす事例が発生しております。

※今回の大寒波後に弊社に報告のあった連結送水管破損等件数

（12件／43281件中 過去3年間の弊社実施件数※乾式・湿式関わらず）2月8日現在

上記の報告を受け、弊社における連結送水管耐圧性能点検（乾式配管）における作業後の排水について、現状と今後の作業内容についてご説明いたします。

### 【現状】

消防用設備等点検実務必携に基づき、寒冷地以外の建物については下記内容の観点からお立会者様へ確認の上、充水状態をお勧めさせていただいております。

- ①配管内のサビ防止
- ②有事の際に速やかに放水を行える
- ③放水口を開けたままにする等のイタズラ防止

### 【今後】

この度の大寒波の影響に伴う事例を受け社内にて協議した結果、今後の維持管理において下記の内容にて排水可否判定を実施いたします。

#### ①作業前、充水されていない建物

作業後ご依頼者様へ排水の可否を確認させていただきます。

お立会者様が不在の場合等、その場で判断しかねる場合は現状復旧（排水する）といたします。

#### ②作業前、既に充水されている建物

作業後現状復旧（充水のまま）といたします。

但し、建物関係者様からのご要望で排水する場合は、建物の維持・管理においてお立会者様、又は保守点検業者様へ排水作業をお願いする場合があります。

この度の配管内凍結による連結送水管の損傷・不具合やそれに付随する二次災害等についての補償は、弊社ではいたしかねますので、ご理解下さい。

以上